

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)、(京都国立博物館) 1)、(東京国立博物館) 1)、2)、3)								
担当部課	学芸研究部列品管理課			事業責任者	課長 沖松健次郎			
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内外の博物館等98機関に611件の作品を貸与した。 2) 文化財活用センターと東京国立博物館は共同で国立博物館収蔵品貸与促進事業を実施した。国内の博物館など6機関に81件の作品を貸与した。 (東京国立博物館) 1) 長崎歴史文化博物館等の平常展示のため、地域ゆかりの文化財の長期貸与を実施した。 2) 海外の博物館等7機関に33件の作品を貸与した。 3) 国内の博物館等91機関に578件の作品を貸与した。								
【補足事項】 (4館共通) 2) 日本およびアジアの歴史・文化への理解を進めるとともに、地方創生および観光振興に寄与することを目指し、各開催館までの往復輸送費・保険料・職員出張費を負担する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」を実施した。小規模貸与事業として、鹿児島市立美術館「鹿児島市立美術館開館70周年記念 没後100年 黒田清輝とその時代」(会期：7月24日～9月1日)に43件、岐阜県美術館「皇居三の丸尚蔵館特別協力 PARALLEL MODE：山本芳翠—多彩なるヴィジュアル・イメージ」(会期：9月27日～12月8日)に6件、福井市立郷土歴史博物館令和6年秋季特別展「鉄の名工 越前明珍」(会期：10月19日～12月1日)に6件、豊橋市美術館「銅鐸の国—伊奈銅鐸出土100年—」(会期：11月2日～6年2月2日)に13件、佐野市立吉澤記念美術館佐野市合併20周年記念特別企画展「丸山瓦全と佐野の文化財保護—天明鋳物を護り、エラスムス像を見つけた—」(会期：7年1月25日～3月9日)に9件、茨城県立歴史館令和6年度春の特別展「雪村—常陸に生まれし遊歴の画僧—」(会期：7年2月15日～4月6日)に4件を貸与した。 (東京国立博物館) 2) 湖巖美術館(大韓民国)に4件、国立中央博物館(大韓民国)に14件と2件、国立故宫博物院南部院区(台湾)に3件、大英博物館(英国)に2件、故宫博物院(中華人民共和国)に6件、メトロポリタン美術館(米国)に2件を貸与した。 3) 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館、岐阜関ヶ原古戦場記念館等の新規貸与館を含め、91機関に578件の作品を貸与した。								
【定量的評価】項目	6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5
貸与件数	611件	-	-	年 変 化	806	990	1,075	999
うち国内の貸与件数	578件	-	-		794	969	1,056	808
うち国外の貸与件数	33件	-	-		12	21	19	191
【年度計画に対する総合評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 国内の博物館等の91機関に578件、海外の博物館・美術館の7機関に33件の収蔵品を貸与し、国内外の展覧会の開催に協力した。 貸与促進事業は、6機関に81件の収蔵品貸与を行い、各地域ゆかりの文化財の展示に貢献した。						
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 中期計画に基づき、国内外の博物館等の出品要請に応じて、貸与を実施した。 7年度以降も文化財活用センターとの連携を深めるとともに、有意義な展覧会に貸与を実施し、国内外の博物館活動に寄与できるよう、協力依頼に積極的に応じる。						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)、(京都国立博物館) 1)								
担当部課	学芸部			事業責任者	列品管理室長 永島明子			
【実績・成果】 (4館共通) 1) 国内71機関（機関は延べ件数）に対し、計338件の収蔵品を貸与した（館蔵品：157件、寄託品：181件） 2) 338件のうち、6年度国立博物館収蔵品貸与促進事業での収蔵品貸与 4件である。								
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品の貸与に際しては、貸出先の保管、警備体制、虫害対策、展示環境等を総合的に判断しながら、貸出先の要望に応じた。具体的には、奈良国立博物館の空海生誕1250年記念特別展「空海 KŪKAI ―密教のルーツとマンダラ世界」に国宝7件、重文2件、東京国立博物館の特別展「神護寺―空海と真言密教のはじまり」展に国宝7件、重文11件、北海道立近代美術館の特別展「国宝『鳥獣戯画』北海道初公開 京都 高山寺展―明恵上人と文化財の伝承」に国宝4件、重文7件を含む収蔵品・寄託品の貸与を行った。 写真右：愛知県美術館 相国寺承天閣美術館開館40周年 「相国寺展―金閣・銀閣 鳳凰がみつめた美の歴史」貸与 重要文化財 山水図 拙宗筆 館蔵品 写真下：佐賀県立美術館 特別展「桃山三都一京・大坂と肥前名護屋―」貸与 重要文化財 太刀 銘山城国西陣住人埋忠明寿（花押）／慶長三年八月日他江不可渡之館蔵品  								
【定量的評価】項目	6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5
貸与件数	338件	-	-	年 変 化	286	314	263	328
うち国内の貸与件数	338件	-	-		286	314	263	310
うち国外の貸与件数	0件	-	-		0	0	0	18
【年度計画に対する総合評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保存状況と貸出先のコンディションを勘案しながら、国宝・重要文化財を含む収蔵品・寄託品を国内の博物館に貸与した。新規貸与先についても、貸与施設の展示・保管環境等を十分に考慮したうえで可能な範囲で要請に応じた。7年度も引き続き、先方の要請に可能な範囲で応じていく予定である。						
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 収蔵品の保管・展示状況と貸出先のコンディションを勘案しながら、貸出先の展示替えについて、当館の作品担当者の立会いのもと貸与を行うなど、可能な範囲で要請に応じており、中期計画を順調に遂行できている。7年度以降も国内外の博物館の要請に可能な限り応じ、協力していくことで、文化財の活用に努めていきたい。						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (4館共通) 1)、2)								
担当部課	学芸部			事業責任者	部長 吉澤悟			
【実績・成果】 (4館共通) 1) 収蔵品と寄託品を国内合わせて 30 の機関に計 336 件の貸出を行った。								
【補足事項】 (4館共通) 1) 収蔵品・寄託品の貸与 ○貸与先30件の内訳： 国立4件、公立21件、私立5件 ○貸与作品336件の内訳： ・ 国宝17件（館蔵品12件、寄託品5件） ・ 重要文化財127件（館蔵品100件、寄託品27件） ・ その他 192 件（館蔵品 146 件、寄託品 46 件） 貸与した館蔵品258件の内訳： 絵画81件、彫刻32件、書跡41件、工芸58件、考古46件 貸与した寄託品78件の内訳： 絵画38件、彫刻19件、書跡7件、工芸13件、考古1件 2) 文化財活用センター経由での収蔵品貸与 ○貸与先1件（公立1件） ○貸与作品 ・ 館蔵品1件（未指定、考古） 写真上：仙台市博物館 親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞と東北の念仏－ひろがる信仰の世界－」貸与 重要文化財 親鸞聖人像（館蔵品） 写真下：倉吉博物館特別展「大御堂展」貸与 国宝 金光明最勝王経 巻第八（館蔵品）  								
【定量的評価】項目	6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5
貸与件数	336件	-	-		107	252	113	125
うち国内の貸与件数	336件	-	-		107	252	113	119
うち国外の貸与件数	0件	-	-		0	0	0	6
【年度計画に対する総合評価】 評価：A		【判定根拠、課題と対応】 貸与先が30件となり、日本各地で開催された展覧会へ大いに寄与した。なかでも、石川県立美術館が開催した特別展「まるごと奈良博」には、館蔵品203件が貸与され、地域文化振興に大いに貢献した。以上から、十分に年度計画を遂行できたと判断し、A評価とした。						
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。								
【中期計画に対する評価】 評価：A		【判定根拠、課題と対応】 貸与希望機関の要望にできる限り応じつつ、館蔵品・寄託品のコンディションも保持するため、貸与が難しい作品については代替作品等を提案したり、先方の展示・収蔵環境の改善についてアドバイスをを行うといった条件を付した上で貸出しを許可したりするなど、柔軟な対応をとった。全国の展示施設の展覧会の実施に貢献することができ、着実に中期計画を遂行したと言える。特に6年度は、大規模な館蔵品貸与を行い、展覧会の実施に大いに貢献したため、A評価とした。						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信								
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与								
【年度計画】 ・I-1-(5)-①(4館共通)1)、2)、(九州国立博物館)1)									
担当部課	学芸部文化財課			事業責任者	課長 野尻忠				
【実績・成果】 I-1-(5)-①(4館共通) 1) 国内延べ28機関に延べ93件の収蔵品、海外延べ2機関に延べ8件を貸与した。(東京国立博物館からの長期管理換品を含む。巡回展等で複数館に貸与した場合は、それぞれ機関数と収蔵品をカウントしている。) ・所蔵品の貸与件数：延べ74件(うち国宝2件、重要文化財5件) ・寄託品の貸与件数：延べ27件(東京国立博物館からの長期管理換品を含む。うち国宝1件、重要文化財4件) 2) 文化財活用センターが実施する「国立博物館収蔵品貸与促進事業」における貸与はなかった。 I-1-(5)-①(九州国立博物館) 1) 福岡県内の延べ5機関に延べ14件の収蔵品を長期貸与した。									
【補足事項】 貸与先機関と貸与件数は下記のとおりである。 1) 国内の貸与先機関 ・国立機関。 東京国立博物館3件(2件〈4月〉+1件〈9月〉)、京都国立博物館13件(3件〈4月〉+10件〈3月〉)、文化庁2件(1件〈5年度から6年度にかけて貸与〉+1件〈1月〉)。 ・地方公共団体及び公立博物館・美術館。 (福岡県内) 甘木歴史資料館3件(長期貸与)、糸島市立伊都国歴史博物館3件(長期貸与)、小郡市埋蔵文化財センター5件(長期貸与)、求菩提資料館2件(長期貸与)、大野城心のふるさと館6件(5件〈7月〉+1件〈10月〉)、福岡県立美術館1件、北九州市立自然史・歴史博物館1件、九州歴史資料館9件、福岡市美術館3件、芦屋釜の里2件。 (福岡県外) 福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館1件(5年度から6年度にかけて貸与)、くまもと歴史・文学館(熊本県立図書館)1件(5年度から6年度にかけて貸与)、市立伊丹ミュージアム2件、岡山県立博物館1件、和泉市久保惣記念美術館1件、宮崎県立西都原考古博物館19件、都城島津邸3件、佐賀県立美術館6件。 ・私立博物館・美術館及び私立団体。 公益財団法人古都大宰府保存協会大宰府展示館1件(長期貸与)、五島美術館1件、サントリー美術館4件。 2) 海外の貸与先機関 韓国・三星文化財団(湖巖美術館)3件(5年度から6年度にかけて貸与)、中華民国・國立故宮博物院(南部院区)5件。									
 浅葱地椿燕文紅型衣裳 (國立故宮博物院(南部院区)へ貸与)									
【定量的評価】項目		6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5
貸与件数		101件	-	-	-	36	132	128	132
うち国内の貸与件数		93件	-	-	-	35	130	128	125
うち国外の貸与件数		8件	-	-	-	1	2	0	7
【年度計画に対する総合評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 5年度と比較し、収蔵品貸与件数は減少したものの、貸与先件数が増加した(25件→30件)。ColBaseや当館収蔵品データベースを通じて、貸与申請機関が自らの展覧会趣旨に応じた所蔵品選定が可能になり、各機関の展覧会の充実化に貢献できた。5年度に引き続き、海外への貸与を実施した。また、福岡県内の博物館・資料館への長期貸与を行い、福岡や九州ゆかりの文化財が持つ魅力の地域への発信に寄与することができた。 以上の成果から、B評価とした。							
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。									
【中期計画に対する評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 当館博物館科学課環境保全室とともに貸与申請機関の状況等を総合的に勘案して、適切に貸与を実施した。当館収蔵品の貸与を通じて、国内外の博物館・美術館の展覧会の充実化に大きく寄与することができた。また、県内又は九州にある博物館・資料館への貸与等を通じて、各博物館・美術館の展覧事業に協力することができ、地域ゆかりの文化財の魅力発信に寄与することができた。 7年度も引き続き、国内外への収蔵品貸与を通じて、当館の収蔵品の魅力を広く発信していく。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信														
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ①国内外の博物館等への有形文化財の貸与														
【年度計画】 ・ I-1-(5)-① (皇居三の丸尚蔵館) 1)、2)															
担当部課	管理・情報課			事業責任者	管理・情報課長 五味 聖										
【実績・成果】 (皇居三の丸尚蔵館) 1) 6年度は、以下の展覧会を地方展開として実施した。 ・ 皇居三の丸尚蔵館名品選「美が結ぶ 皇室と香川」4月20日～5月26日 香川県立ミュージアム 貸与件数42件 ・ 皇居三の丸尚蔵館展「皇室の至宝 北海道ゆかりの名品」9月21日～10月27日 北海道立近代美術館 貸与件数56件 ・ 「清流の国さふ」文化祭2024 皇居三の丸尚蔵館特別協力「PARALLEL MODE：山本芳翠－多彩なるヴィジュアル・イメージ」9月27日～12月8日 岐阜県美術館 貸与件数11件 ・ 「皇室の名宝と新潟－皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美」7年2月7日～3月16日 新潟県立近代美術館 貸与件数57件 2) 地方展開のほか 12件の博物館・美術館へ、15件貸与を行った。															
															
北海道立近代美術館での開会式の様子				新潟県立近代美術館での展示作業											
【補足事項】 「皇居三の丸尚蔵館名品選 美が結ぶ 皇室と香川」入館者数累計 23,027人 「皇居三の丸尚蔵館展 皇室の至宝 北海道ゆかりの名品」入館者累計： 36,877人 「PARALLEL MODE：山本芳翠－多彩なるヴィジュアル・イメージ」入館者累計：16,907人 「皇室の名宝と新潟－皇居三の丸尚蔵館収蔵品でたどる日本の技と美」入館者累計：8,256人															
【定量的評価】項目	6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5							
貸与件数	181件	-	-	-	-	-	-	177							
うち国内の貸与件数	181件	-	-	-	-	-	-	177							
うち国外の貸与件数	0件	-	-	-	-	-	-	0							
【年度計画に対する総合評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 工事期間中の十分な展示スペースが無い中で、計画どおり香川県、北海道、岐阜県、新潟県で当館の収蔵品による地方展開を開催した。貸出や輸送・展示作業のほか、図録や解説の執筆、講演等により地域ゆかりの文化財を通じて皇室や日本の文化に親しんでいただけた。地方展開として166件（国宝3件・重文1件）を貸出した。そのほか、地方の展覧会に協力した貸与を実施し、他館との交流関係を深めることができた。													
【中期計画記載事項】 収蔵品については、その保管・展示状況、コンディション、貸出先の施設の状況等を総合的に勘案しつつ、国内外の博物館等の要請に応じて、展示等の充実に寄与するため、貸与を実施する。															
【中期計画に対する評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 地方展開のほか、国内外の博物館等の要請に応じて貸与を行い、中期計画を着実に遂行することができたため、Bと評価した。7年度も当館の収蔵品による地方展開を4箇所以上で開催し、地方の活性化に寄与する予定である。													

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】 ・ I-1-(5)-② (5館共通) 1)、(東京国立博物館) 1)								
担当部課	学芸研究部			事業責任者	部長 河野一隆			
【実績・成果】 (5館共通) 1) 公私立博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等に対し、182件の援助・助言を行った。 ・文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力 57件 文化庁、エルメス財団、岡山県教育委員会、国宝修理装演師連盟、国立アイヌ民族博物館 ほか ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 28件 アウシュビッツ平和博物館、ケ・ブランリ美術館、国立印刷局 ほか ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 12件 一般社団法人霞会館、ウィーン世界博物館、法隆寺 ほか ・講演・セミナー・審査等での協力 59件 公益社団法人日本工芸会、オーストラリア大使館、国立西洋美術館、東京国立近代美術館 ほか ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 26件 茨城県立歴史館、岡山県立美術館、韓国国立中央博物館 ほか ・3年度より新たに保管文化財に対する特殊な機材を用いた計測、非破壊による材質・成分等の調査、その他、特別観覧に該当しない撮影による調査等の外部からの調査協力依頼に対し、調査協力をする事業を開始した。 ・東京国立博物館保管文化財の調査協力 10件（件数については参考値とし、援助・助言件数には含めない。） 韓国国立中央博物館、埼玉県立さきたま史跡の博物館、鹿児島大学総合研究博物館、諏訪市教育委員会、山口大学、北里大学薬学部附属東洋医学総合研究所、摂南大学、奈良市教育委員会、東京芸術大学 ほか (東京国立博物館) 1) 新規貸与館に対する環境調査を実施し、指導助言を行った。 環境調査を実施した新規貸与館は、10館。(参考：文化財活用センター貸与促進事業関係 1件)								
【補足事項】								
【定量的評価】項目	6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5
援助・助言等の件数	182件	-	-		78	98	122	168
【年度計画に対する総合評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 6年度は例年通り、公私立博物館・美術館で開催される展覧会や運営等についての援助や助言、新規貸与館への環境調査を適切に行うことができた。 また、公私立博物館・美術館、大学、その他研究機関の要請に応じた保管文化財の調査協力も引き続き行うことができた。						
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS 等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。								
【中期計画に対する評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 中期計画の4年目となる6年度も、引き続き、技術的・専門的な援助・助言を適切に実施することができている。また外部からの調査協力についても、適切に実施することができている。 中期計画最終年度となる7年度以降も、これまで同様積極的に対応し、文化財の保存活用に寄与していきたい。						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信								
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等								
【年度計画】 ・ I-1-(5)-② (5館共通) 1)、(京都国立博物館) 1)、2)									
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 尾野善裕						
【実績・成果】 (5館共通) 1) 行政、公私立博物館等の各種委員等への就任などを含め、博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を129件実施した。 ・文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む） 文化庁文化審議会（文化財分科会）など官公庁の各種委員会への助言・協力 大阪府、三重県、鳥取県、大阪市、越前市など地方公共団体の文化財保護審議会委員等として助言など ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 奈良国立博物館などの国内の博物館・美術館等への展示助言など ・調査・保存・修理に関する助言・指導 保存処理（名古屋城調査研究センター）、調査（滋賀県琵琶湖博物館）、重要無形民俗文化財に係る復元事業への協力（材料調査；長浜曳山祭）、古墳壁画保存活用検討会（材料調査班）、「法隆寺金堂壁画保存活用委員会」壁画ワーキンググループ（材料調査班）専門委員として協力など ・講演・セミナー・審査等での協力 京都大学、京都工芸繊維大学、神戸大学、同志社女子大学、國學院大學など、大学の非常勤講師として協力など ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 兵庫県立人と自然の博物館、和泉市久保惣記念美術館への協力など 国際研修としてUNESCOチェアITC-DRMCHに協力し、京都国立博物館の展示・収蔵環境、減災対策などの安全対策への取組について情報発信を行った。また知恩院、清水寺と保管環境に関する調査・研究について連携研究を実施した。京都文化財等所有者連絡協議会では、「文化財を微生物から守る」というタイトルで講演し、エキヒュームSの生産中止を受けて実施が困難となるカビ対策とガス燻蒸の今後について助言を行った。 (京都国立博物館) 1) 畠山記念館の建て替え工事に伴い、同館収蔵品を引き続き一時保管するとともに、一部を特集展示等に活用した。 2) 大阪市立美術館の改修工事に伴い、同館収蔵品を引き続き一時保管するとともに、一部を特集展示等に活用した。									
【補足事項】 ・文化財の展示・保管環境に関する指導・助言：知恩院、清水寺 ・文化財の展示・保管環境・安全対策に関する講演・研修などでの協力：UNESCOチェアITC-DRMCH ・文化財の調査・修理に関する指導・助言：文化庁、鳥取県、四万十市、丸亀市									
【定量的評価】項目		6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5
援助・助言等の件数		129件	-	-		137	129	131	141
【年度計画に対する総合評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 国内の様々な機関の要請に対し、職員が各々の専門性に応じて、129件の援助・助言・指導及び協力を行った。研修では、減災対策や微生物被害について京博の取組を研究者や所有者に向けて発信できた。						
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。									
【中期計画に対する評価】 評価：B			【判定根拠、課題と対応】 援助・助言等の件数としてはコロナ禍前と同等程度の水準の要請に応じることができており、中期計画を順調に遂行できている。国際・国内研修を実施し情報交換を積極的に実施していくことで、今後も適切に実施できる防災対策や生物対策について検討していく。						

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】公私立の博物館・美術館等が開催する展覧会及び運営等の援助・助言を行う。 ・I-1-(5)-② (5館共通) 1) (奈良国立博物館) 1)、2)								
担当部課	学芸部	事業責任者	部長 吉澤悟					
【実績・成果】 (奈良国立博物館) 1) ・援助・助言を117件実施した。 ・以下の展覧会に学術協力として援助・助言を行った。 大阪中之島美術館 特別展「醍醐寺展」6月15日～8月25日 石川県立美術館 特別展「まるごと奈良博展」7月6日～8月25日								
【補足事項】 以下のとおり、援助・助言を行った。 ・文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に対する助言・協力 35件 奈良県、文化庁、宮内庁、鳥取県、三重県、山口市教育委員会ほか ・文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 16件 石川県立美術館、大阪中之島美術館ほか ・文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 20件 法隆寺金堂壁画保存活用委員会ほか ・講演・セミナー・審査等での協力 31件 奈良女子大学、石川県立美術館、神戸大学ほか ・博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 15件 大和文華館、松柏美術館、日本工芸会ほか ・「まるごと奈良博」展への特別協力 当館が特別協力として全面協力し、石川県立美術館において7月6日～8月25日の会期で展覧会「まるごと奈良博 ―奈良国立博物館 至高の仏教美術コレクション―」を開催した。入館者数の累計は5万6106人と、県立美術館が主催する展覧会で歴代2位となる盛況となった。 会期中は当館職員が現地でワークショップの講師を複数回務めるなど教育普及の面からも協力した。また、DMG森精機株式会社の特別協賛を仰ぎ、内灘町以北の小中学生を無料招待するなど、国立博物館として被災地の復興への助力に取り組んだ。								
								
「まるごと奈良博展」の看板 (石川県立美術館)								
【定量的評価】項目	6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	3	5
援助・助言等の件数	117件	-	-		50	68	67	65
【年度計画に対する総合評価】 評価：S	【判定根拠、課題と対応】 国内外の様々な博物館・美術館の要請に対し、近年の水準と比較して遜色のない件数に応じることができた。各方面への援助・助言を積極的に行った結果、着実に年度計画を実行できた上、当館での特別展開催と同レベルの全面協力による「まるごと奈良博展」も実施し、多数の入館者数及び被災地の協力を実現し、上記のとおり特に顕著な成果を上げたと言えるためS評価とした。							
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等を図る。								
【中期計画に対する評価】 評価：A	【判定根拠、課題と対応】 6年度も国内外の博物館や地方公共団体の要請に応じ、指導・助言を行うことができた。この点から中期計画を順調に遂行できたと判断する。加えて、展覧会への特別協力も行い、顕著な成果を上げたと言えるためA評価とする。今後も、国内外の館に対し効果的な指導・助言を行っていきたい。							

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信							
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等							
【年度計画】								
・ I-1-(5)-② (5館共通) 1)								
・ I-1-(5)-② (九州国立博物館) 1)、2)、3)								
担当部課	学芸部			事業責任者	部長 白井克也			
【実績・成果】								
(5館共通)								
I-1-(5)-② (5館共通)								
1) 以下のとおり、公私立の博物館・美術館等に対する援助・助言を行い、年度計画どおり事業を実施できた。								
・ 文化庁、地方公共団体、公私立博物館等の文化財関係事業に関する助言・協力（各種委員会等の委員としての助言を含む）(36件)								
・ 文化財の展示・展覧会の運営に関する援助・助言 (0件)								
・ 文化財の調査・保存・修理に関する助言・指導 (2件)								
・ 講演・セミナー・審査等での協力 (18件)								
・ 博物館等の運営・事業・環境に関する援助・助言 (7件)								
・ 文化財の科学調査についての受託研究 (1件)								
I-1-(5)-② (九州国立博物館)								
1) 「古文書保存基礎講座」								
文化財保存への理解と普及を目的とした講座を令和5年度に引き続き開催した。福岡県と九州地域を中心とした全国の博物館・美術館・文化財関連機関において、古文書等を取り扱う担当者を対象とした。								
日 程：5月23日～24日								
主 催：当館、福岡県教育委員会、筑紫野市歴史博物館								
協 力：国宝修理装演師連盟								
内 容：保存修理や古文書の整理、有害生物管理等に関する講義（於：当館）のほか、文化財修理の理念に基づく応急手当の実習（於：筑紫野市歴史博物館）を行った。								
受講者数：24人（応募総数65人より選考）								
								
古文書保存基礎講座 (応急手当の実習)								
2) 「IPM（総合的有害生物管理）研修」								
IPMへの理解と普及を目的とした研修を令和5年度に引き続き開催した。全国の博物館・美術館・文化財関連機関の職員等を対象とした。								
日 程：10月24日～25日								
内 容：講義のほか、実物の文化財害虫を用いた害虫同定、トラップ調査データ分析、作品に応じて殺虫法を考える実習などを行った。また、6年度末に殺菌燻蒸剤、酸化エチレン製剤「エキヒュームS」が販売中止になることを受け、カビのクリーニングを実施するための陰圧ブースなどを紹介した。								
受講者数：32人（応募総数140人より選考）								
								
IPM 研修（殺虫方法選ぶ実習）								
3) 「福岡県内公私立博物館・美術館等職員向け展示研修」								
日 程：6月24日（月）								
内 容：大野城市こころのふるさと館と連携し、県内の展示担当者に向けた研修を実際の展示会場を活用して行った。当館文化交流展示室で開催中の「新収品展2024」「アジアの工芸」の展示を例に、作品の形態や素材による展示手法、演示具の工夫、効果的なライティングなどについて解説した。特に今回は、染織作品や漆芸作品の、繊細な素材の作品の展示方法や注意点や、文字制限のある中で、簡潔にわかりやすく解説する題箋書き方について詳しく解説した。								
受講者数：約20人								
【補足事項】								
【定量的評価】								
項目	6年度実績	目標値	評定	経年変化	2	3	4	5
援助・助言等の件数	64件	-	-		81	77	97	63



古文書保存基礎講座
(応急手当の実習)



IPM 研修（殺虫方法選ぶ実習）

【年度計画に対する総合評価】 評価：A	【判定根拠、課題と対応】 6年度も3つの研修ともに多くの受講希望があり、研修後のアンケートでは、古文書研修で、5段階評価のうち「とても良かった」が87%、「良かった」が12%と、合計99%が「良かった」以上の評価であった。IPM研修でも「とても良かった」が78%、「良かった」が22%であり、合計100%が「良かった」以上の評価となるなど、受講者にとって非常に満足度の高い研修を実施できた。以上より年度計画を大きく上回る成果を得られたと判断したことからA評価とした。
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。	
【中期計画に対する評価】 評価：A	【判定根拠、課題と対応】 国内の博物館等の要請に応える形で、資料管理の実務を座学と実習の両面から学ぶ研修を実施することができた。こうした研修の需要は年々高まっており、研修後のアンケート結果からも受講者の満足度が非常に高かったことがうかがえたことから中期計画を大きく上回る成果を上げていると判断し、A評価とした。今後も公私立博物館・美術館職員・地方自治体文化財担当者等の要望や課題を踏まえ、理念と実践の内容をバランス良く構成した研修を目指したい。

中項目	1. 有形文化財の保存と継承並びに有形文化財を活用した歴史・伝統文化の国内外への発信														
事業名	(5) 国内外の博物館活動への寄与 ②国内外の博物館等への援助・助言等														
【年度計画】 ・ I-1-(5)-② (5館共通) 1)															
担当部課	総務課 調査・保存課			事業責任者	総務課長 井手 真二 調査・保存課長 高梨 真行										
【実績・成果】 (5館共通) 1) ・行政機関や公私立博物館、教育委員会等の各種委員への就任を含め、文化財関係事業に関する助言・協力を行った。 ・宮内庁や文化庁の調査研究への協力や修理に対する指導・助言を行った。 ・香川県、北海道、岐阜県、新潟県において地方展開として当館収蔵品の展覧会を開催し、作品の調査や展示における助言を行った。 ・国内外の研究者に対して文化庁と調整しながら収蔵品の熟覧を受け入れた。また、北米・欧州・アジア諸国を含めた国内外の美術館の日本美術や博物館運営の専門家の視察を受け入れ、意見交換を行った。 ・日本博物館協会及び全国美術館会議に加盟した。文化財防災センターの能登地区への文化財レスキュー事業に職員を継続的に派遣し、また、川崎市市民ミュージアムのレスキュー事業やアムステルダムで開催されたCIDOC International Conference 2024 (ICOMドキュメンテーション国際委員会) へ職員を派遣し発表するなど、国内外との博物館との連携構築に努めた。 ・国外の宮殿や王室コレクションを収蔵する美術館へ職員を派遣し、収蔵品や博物館運営に関する意見交換や調査・交流を行った。(イギリス・フランス・オランダ・スペイン・ポルトガル・ギリシャ・中国)															
															
北海道での地方展開における講演会の様子															
【補足事項】															
【定量的評価】項目	6年度実績	目標値	評価	経年変化	2	3	4	5							
援助・助言等の件数	67件	-	-		-	-	-	38							
【年度計画に対する総合評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 公私立館等からの問い合わせに適切に対応した。ICOMや日本博物館協会、全国美術館会議にも加盟し、人的ネットワークの形成に努めた。 直近で新規に開館した施設として取材や視察に可能な限り対応し、意見交換等により機構内外の博物館活動への寄与を行っており、着実に計画を遂行している。													
【中期計画記載事項】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに、ICOM、ICOMOS等の国際機関とも連携しつつ、博物館関係者の情報交換を推進し、人的ネットワークの形成等に図る。															
【中期計画に対する評価】 評価：B		【判定根拠、課題と対応】 国内外の博物館等からの要請に応じて、専門的・技術的な援助・助言を行うとともに機構内外の専門家と情報交換を推進し、着実に人的ネットワークを形成している。今後も当館の専門性を生かし、国内外の博物館活動への寄与を行う。													